

自治体	賛否	理由
徳島県		婚姻制度や家族の在り方と関係する重要な問題であるため、国民の理解の下で進めることが不可欠。国で議論を深めてほしい
徳島市	賛成	選択肢があることが重要。また、姓を変更するのは女性の方であることが当然という風潮の中、個人的に嫌な思いをしたこともある
鳴門市	どちらとも言えない	家族形態の多様化が進む中、旧姓使用や事実婚を選択する人も少なくないと考えられるが、一方で姓のあり方はその国の伝統や歴史に由来する。制度については国の動向を注視するとともに、法改正が伴うため、国で判断すべきだ
小松島市		行政事務の運用がスムーズに行える法整備が確立され、住民ニーズがあり、サービスが向上するのであれば、導入するのもよい
阿南市	賛成	結婚というシステム自体が既に制度疲労を起こしており、今後の国際化やSDGsの推進を考えれば、個人の選択肢に幅を持たせることは当然である
吉野川市	賛成	制度導入により、女性の社会進出や地位向上に寄与できるのではないかと。ただし、子どもの姓が一方の親と違ってくるため、慎重になる必要がある
阿波市	賛成	家族の多様化が進む中、旧姓を通称使用する人や事実婚を選択する人も少なくない。また、改姓によってキャリアに分断が生じる、結婚をあきらめるといった不利益を被るケースが少なからずある
美馬市	賛成	その人自身の自由で別姓・同姓を選択できればよい
三好市	賛成	個人の尊重は多様性を保障できる社会基盤が前提となる。選択できる制度に意義がある
石井町	賛成	婚前姓が仕事や私生活で社会的に認知(その名前で人格・キャリア形成)されていて、本人の今後の生活に支障が出る場合もあるため
神山町	賛成	多様な価値観を許容する観点から、夫婦別姓を希望する人にはその道を開いてよい
佐那河内村	賛成	個人の意見を尊重すべきである。ただし本格的な導入には法的整備などさまざまな課題がある
勝浦町	賛成	戸籍制度、婚姻制度ともに国の定める法律にのっとり全国一律であるのが望ましい。導入の是非は国が判断し、法律の定めが必要である
上勝町		職場では旧姓使用を認めており、現状で問題ないとする
那賀町	反対	子どもたちへの影響が心配
美波町	反対ではない	ことはそれほど単純ではない。個人の考えが家族のあり方、地域のあり方、ひいては国のあり方に影響を与えかねない問題だと思う。慎重に判断していきたい
牟岐町	話題になったことがない	本町では議論できていない
海陽町	賛成	導入には戸籍制度など従来から受け継がれてきたものの見直しが必要。課題がクリアできれば賛成
北島町	選択の自由はあってもよいのでは	積極的賛成ではなく、時代の流れかなと容認
松茂町	町長として特段の意見はない	法律上、家族を規定する戸籍事務は国から市町村への法定受託事務。国でしっかり議論してほしい
藍住町	賛成	民法改正に加え、家族の一体感の希薄化、子どもがどちらの姓を名乗るかなどの課題もあるが、職場で別姓(旧姓)が容認されることが多いなど、理解が進んでいると思われる
板野町	賛成	仕事上では旧姓が必要な方もいて、選択肢が増えるので賛成
上板町	国で法制度を整えるべき	現状は民法の条文に従う
つるぎ町	どちらとも言えない	現状では夫婦同姓がなじんでいる一方、特に働く女性は旧姓使用を希望するケースが多い。子どもの姓の問題などがあり、慎重に検討しなければならない
東みよし町		複雑化・多様化する社会の中で本人の意思が尊重されるべきである